

黄色いスバル360は頼りになる相棒



①インパル下には、ラリーで使う2灯無線機を設置する。②追加の電流湯沸かしもくつも使用するが老朽で、最終的にオムスターに交換した。③ほぼ70時間ほどのひたし運転を進行するため、換機具用と改造した自作の特製エアリナーを使用している。



④フロントアンダーカバーとプロトランスオーバーは、カーボクレープで自作した。⑤互換のバッテリーにはデジタル電圧計を設置、自作のカバーに収納。



⑥甲斐に造った船機換法に向けて、準備中のスバル360、パンパーに付く長いアンテナは、ラリー定番でもある既存のC灯無線機のもの。⑦ブダベスタ・ハマコラリーへの参加アピーを出すスバルカーを譲り、日本のドライバー仲間に出かけている。



⑧長身のイムレさんが長時間運転してこられる運転席。防炎シートとくるまを装着。



オリジナルグッズを購入した方から、特製デザインの手コショウチョコレート「キットカット」。



六連星をイメージしたアクセサリーも豊富。総動員金で1個1万円販売する。



ロゴが入ったオリジナルのキップバッグは、運動資金を含めて1個1万円販売。



イムレさんの個人ホームページ、ラリー参戦について詳しい説明が載っているのも、ぜひ読んでみてほしい。



Urayasu Beaufort Hotel
VISUAL BRAND
ハンガリーの2社、日本の2社が企業スポンサーに名前が上げられ、さらに集まる中となっている。

イムレさんへのコンタクト
 ①ホームページ <http://www.subaru360life.com/>
 ②ホームページ helle@subaru360life.com
 ③フェイスブック <https://www.facebook.com/Subaru360Life/>
 ④ブダベスタ・ハマコラリーの公式ホームページ <http://www.budapestbamako.org/en>



アフリカの子供たちに贈る筆箱、ペン、消しゴムのセット。



オリジナルTシャツは、1枚1万円。白・白ページを選択可能。

TOPICS



愛車は08年式スバル360デッキで、コンパチブル社製にしてある。車やまでいり込みできる。重要コンポーネントは上車。電ファンダーの「オーストリアコンパチマル」には、梅田ハンガーのエンジニアが貢献している。



ハンガリーからガンビアまで8600kmを走り抜けて 西アフリカの子供たちに文具を届ける スバル360で長距離ラリーに参戦

7年前にスバル360でシベリア大陸を横断する長距離ドライブを敢行。その後も周到に準備を重ね、ついに2018年1月に開催される長距離ラリーに参戦するイムレさん取材した。

TEXT: NOSTALGIC HERO/編集部
PHOTO: Nicolas St-Pierre, NOSTALGIC HERO/編集部

ブダペスト・ハマコラリーのホームページ、TEAMSの文字をクリックすると、次にSubaru Samuruの名が赤字で

パインの、ママコラリーのホームページ、TEAMSの文字をクリックすると、次にSubaru Samuruの名が赤字で

今回のヨハンイベントの企画で、黄色いスバル360で参加しているイムレさん、ハンガリーファンは多いかもしれない。ハンガリー出身で、大人になってもスバル360を愛用するファンは、スバル360の熱心な愛好者として知られており、各地方のイベントにも活発に日本を通じて、現地ファンと交流を深めている。イムレさんが、スバル360で参加する理由について尋ねると、

2台で、フーリングダケカダゴリでのエントリをして、ラリー1中はクルマの中で経過している。一度戻りを出ると、外務省と連絡をCBBと前屋電話がはたかるとなるようで、冒険ラリー1であるのは間違いなさそうだ。

「私はモリティアとガンビアの子供たちと、直接顔を合わせて行きたくて、筆用具、お菓子、洋服、ウェア、Tシャツを一緒に購入して行きます。私の持ち物に、手袋も入れています。現地の人には、スバル360の現地を準備するのは大変です。」